

新生美術館の基本設計について

1 新館工事単価の上昇の要因

① 物価スライド

労務単価および資材単価の上昇により、基本計画における想定単価算出時点（H24平均）から基本設計時点（H28.5）の建設物価の上昇率が114%となったことにより、平米あたり約8.6万円の増加。

② 消費税上昇

基本計画策定時（H25.12）は、消費税5%であったが、平成26年4月以降、消費税8%であるため、消費税率の上昇は103%となったことにより、平米あたり約1.8万円の増加。

③ 消火設備（ガス消火設備関係）

基本計画時に想定していなかったガス消火設備の併設により設備費が増額したこと。

ガス消火設備等関係 = 1億2,970万円

$1億2,970万円 \div 4,265 m^2$ （新築部分面積） = 30,410円/m²(A)

水消火設備 = 3,564円/m²(B) ※屋内消火栓設備に係る県単価の中間値

(A) - (B) = 26,846円/m²

これにより、平米あたり約2.7万円の増加。

④ その他の要因

分棟型の回遊式庭園美術館方式を採用したことに伴う基礎杭、壁面、空調設備等の経費が増加し、平米あたり約4.9万円の増加。

※ 上記①から④を合算すると、約18.0万円となる。プロポーザル時における新館部分の想定単価の61.7万円にこれを加えると、約79.7万円となる。

2 新館工事費（41.1億円）

- 基本計画を基にした想定整備費用については、近年整備（新築）された他県の美術館等の整備事例を基に、平米あたりの工事単価に想定面積をかけることによって試算しており、工事費の積算資料はない。
- 基本計画の想定工事費用の範囲内で協議を行い、全体工事費47億円（新館工事費41.1億円）を決定した。

①【基本計画】

	想定費用		
	上位	中位	下位
新館工事単価	@758千円	@580千円	@451千円
新館想定床面積	6,656㎡		
同 工事費	50.5億円	38.6億円	30.0億円

②【新館工事費41.1億円】

	想定費用
	他県の美術館等の整備事例を基に下記工事費とした
新館工事単価	@617千円
新館想定床面積	6,656㎡
同 工事費	41.1億円

③【基本計画：近年整備（新築）された他県の美術館等の整備事例】

施設名	竣工年次	延床面積	工事費(円)	施工単価(円/㎡)	補正指数 (2012年上半期 SRC純工事費 平均=1.00)	補正後 施工単価 (円/㎡)	備考
A館	2001	27,461㎡	¥22,000,000,000	¥801,000	1.056	¥758,000	上位
B館	2006	16,355㎡	¥11,587,485,000	¥708,000	1.015	¥697,000	
C館	2005	10,092㎡	¥6,300,000,000	¥624,000	1.005	¥620,000	
D館	2006	11,855㎡	¥6,800,000,000	¥574,000	1.015	¥565,000	公開承認施設
E館	2005	13,322㎡	¥6,578,730,000	¥494,000	1.005	¥491,000	
F館	2004	17,364㎡	¥8,413,418,000	¥485,000	1.018	¥476,000	
G館	2000	10,178㎡	¥4,942,000,000	¥486,000	1.077	¥451,000	下位

④【新館工事費41.1億円を検討する際に追加した整備事例】

施設名	竣工年次	延床面積	工事費(円)	施工単価(円/㎡)	補正指数 (2012年上半期 SRC純工事費 平均=1.00)	補正後 施工単価 (円/㎡)	備考
H館	1998	10,921㎡	¥8,267,000,000	¥757,000	1.113	¥680,000	公開承認施設